

北章宅建グループ サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2025 年 8 月 22 日

株式会社北洋銀行
麻生支店

1. 基本情報

北章宅建グループ(以下、「当グループ」)は、北海道石狩市に本社を置く北章宅建株式会社を事業中核会社として、主に道央を事業エリアに「イエステーション」のフランチャイズ(FC)店舗を展開し、不動産の売買、仲介、買取再販などの事業を行っている。当グループ各社の概要および資本関係は次の通り。

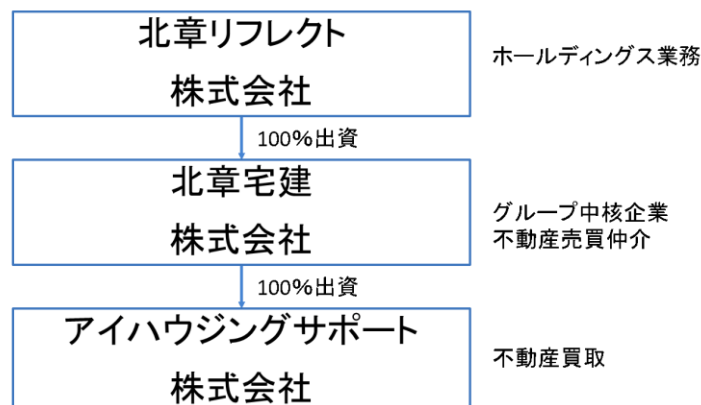
【当グループ各社の概要】

名 称	北章宅建株式会社(グループ中核企業)		
本社所在地	北海道石狩市花川南 1 条 4 丁目 250 番地 オカムラビル 1 階		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2010 年 4 月創業
資 本 金	10 百万円	売上高	511 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産仲介業・不動産管理業	従業員	53 名(2024 年 12 月現在)

名 称	北章リフレクト株式会社		
本社所在地	札幌市中央区南 3 条西 9 丁目 998 番地 3		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2021 年 11 月
資 本 金	10 百万円	売上高	4 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産賃貸業、事務サービス業	従業員	1 名(2024 年 12 月現在)

名 称	アイハウジングサポート株式会社		
本社所在地	江別市野幌町 50 番地 5		
代 表 者	代表取締役 坂本 周平	設立年月	2012 年 9 月
資 本 金	30 百万円	売上高	979 百万円(2024 年 12 月期)
主たる事業	不動産売買業、不動産賃貸業	従業員	13 名(2024 年 12 月現在)

【当グループの資本関係】



【グループの事業概要等】

事業内容	① 不動産売買業、売買仲介及び販売代理業 ② 不動産賃貸業、賃貸仲介及び賃貸管理業 ③ 一般建築工事の設計、施工及び管理 ④ 建築、建物設備のリフォーム工事の設計、施工及びコンサルタント業務 ⑤ 各種損害保険及び少額短期保険代理店業務 ⑥ リサイクル業、家具、不用品の引き取り及び買取、販売	
事業拠点	本社 石狩市花川南1条4丁目250番地 石狩店 同上 小樽店 小樽市花園2丁目6番7号プラムビル3F 江別店 江別市野幌町50番地5 岩見沢店 岩見沢市5条東8丁目1番33号 後志店 余市郡余市町大川町4丁目64番1 滝川店 滝川市栄町4丁目4番29号 小樽駅前店 小樽市稲穂3丁目8番7号 札幌手稲店 札幌市手稲区前田5条12丁目13-30 ノルテビル2階 札幌北店 札幌市北区北32条西5丁目3-27 レガート北321F 美唄店 美唄市大通西1条北2丁目1-28 札幌東店 札幌市東区北22条東15丁目4-22 おおぎビル1F 栗山店 夕張郡栗山町中央2丁目80番1-1 岩内店 岩内郡岩内町字大浜9-1 八雲店 二海郡八雲町東雲町17番34 むかわ店 勇払郡むかわ町花園2丁目82番地 新ひだか店 日高郡新ひだか町静内御幸町3丁目1番78号 土地販売部 イエステーション美唄店内 特販部 本社内 土木・片付サービス事業 江別店内	
沿革	2010年4月 石狩市花川にて不動産仲介業を目的に創業 2011年9月 不動産買取再販業を開始 2012年10月 買取再販業務を目的に子会社分社設立(アイハウジングサポート株式会社) 2013年10月 遺品整理事業、荷物片付事業部設立 2014年6月 不動産賃貸事業開始(商圈内貸家運営) 2015年11月 アイハウジングサポート株式会社にて産業廃棄物収集運搬業免許取得 2018年7月 北海道グリーン・ビズ認定制度「優良な取組」部門登録 2020年8月 朝里ダム、美唄ダムのネーミングライツ(命名権)取得 2022年3月 SDGs 宣言を行う 2022年11月 全国同業者への定期コンサル事業を開始 2023年8月 サステナビリティ経営方針を策定	

2. 理念体系

【北章宅建グループの理念体系】

ビジョン
住まいを通じて、本当の生活の豊かさを創造する。
経営理念
安心と喜びを信用信頼を元に良いサービスで提供する。
事業理念
皆様の街の専門家。高品質な不動産及び関連サービスをこの街で。
人事理念
長所進展、適材適所を年功+実力主義で実現する。
教育理念
人の喜びをわが喜びと頑張る人材育成。
経営目標
不動産流通業の近代化の一助となる。 あまねく地域に、高品質な不動産及び関連サービスを提供する。
当社において目指すべき重要な言葉
安心感 信頼感 信用の蓄積

北章宅建グループは、ビジョンに「住まいを通じて、本当の豊かさを創造する」、事業理念に「皆様の街の専門家」を掲げている。

「皆様の街の専門家」とは、正確な知識・情報に基づく高品質な不動産サービスを提供し、地域やお客様に安心感を与え信頼される存在である。

当グループは、人口減少地域における不動産サービスが、地域の活性化とグループ業容拡大の活路になるとの信念のもと、「皆様の街の専門家」となる人材の育成と拠点の開設を進め、現在では地方圏を中心に16店舗を展開している。

また、経営目標は「不動産流通業の近代化の一助となる。あまねく地域に、高品質な不動産及び関連サービスを提供する。」としている。創業者である坂本周平氏は、不動産取引はステークホルダーが多いこともあり煩雑な事務作業が発生することや、紙媒体の利用が多いこと、ノウハウも属人的になりがちであるという業界的な商習慣に課題を感じ、これを解消することで不動産サービスはより改善されると考えている。北章宅建グループは、顧客との直接的な接点を必要としない業務は徹底的に仕組化・効率化し、顧客との面談時間や付加価値を創出することで、高品質な不動産サービスの提供を目指している。「サービス品質を向上させる」というポリシーのもと、極力他社システムではなく自社でシステム開発を進め、自社と顧客にとって望ましい業務フローを構築するDXの取り組みは、まさに経営目標を体現する活動である。

このように、お客様のニーズにきめ細やかに応え、住まい(＝不動産)を通じて本当の生活の豊かさを創造することが、地域貢献とグループの発展につながるとし、理念体系を定めた。

3. 事業概要

北章宅建グループは、不動産売買を事業の中心とした企業グループである。当グループは人口減少地域に店舗網を展開し、既存不動産ストックの活性化を図ることで地域の経済成長に貢献している。当グループの強みは、地域密着型の事業活動により蓄積された情報量と営業力にある。各地域の商圈を明確に定め、商圈毎の不動産情報の集約と中長期的に顧客接点を維持する営業活動により、他社に先駆けて優先的な交渉の実現を可能としている。他社が避ける傾向にある少額な取引にも積極的に対応することで、年間の取引件数は約 700 件、販売中の不動産物件数は、空知管内シェア約 40%、同後志管内シェア約 40%と高いシェアを維持している。

北章宅建グループは、適切かつ高品質な不動産サービスの提供により、顧客満足の最大化と顧客が住む地域および当グループの発展を目指し、「住まいを通じて、本当の生活の豊かさを創造する」というビジョンを掲げている。このビジョンの実現に向けて、2022 年 3 月に SDGs 宣言を行い、2023 年 8 月にはその取り組みをさらに発展させるべくサステナビリティ経営方針を策定している。サステナビリティ経営方針においては、重要課題に「住まいを通じた豊かさの創造」「高品質な不動産サービスの実現」「環境経営の実施」「ダイバーシティ推進と働きやすい職場づくり」の 4 つを特定し、それぞれの目標・KPIを定めている。2024 年 9 月には当行にて「ポジティブインパクトファイナンス評価書」を発行し、株式会社格付投資情報センター様から第三者評価として「セカンドオピニオン」を取得した。同評価書ではコア・インパクトを「住まいを通じた豊かさの創造」と特定し、地方圏の不動産取引の担い手となり続けることで、地方圏における経済面の活性化を図ることや、空き家問題の解決につながる取り組みを行うことなど、環境・社会・経済へ好影響を与えている点などを評価している。



【出所：北章宅建グループ提供資料】

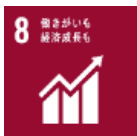
4. サステナビリティ目標

北章宅建グループの更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現にむけた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、北章宅建グループの事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、北章宅建グループのプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	人的資本の推進
目 標 ・ K P I	役職員のエンゲージメントの可視化を実施し、継続的に向上させる。
関連する SDGs	

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。